

宿命の地で、男は復讐に燃え、女は運命を信じた。

刀不留人 兵必血刃

THE

BLADE

ブレード刀

ツイ・ハーク監督作品

Starring
WING ZHAO
XIONG XIN-XIN
SU TSUI-YU
WAI TIN-CHI

Executive Producer
RAYMOND CHOW

Screenplay by
TSUI HARK
KOAN HUI
SO MAN-SING

Produced & Directed by
TSUI HARK

Presented by
FCC, MR. K2

Distributed by
K2 ENTERTAINMENT 

© 1995 Paragon Films Limited.


Golden Harvest

◆出演/ウイン・ツァオ、シャン・シンシン、チャン・ホー、ソニー・スー ◆主題歌/サリー・イツ

◆監制・導演・編劇/徐克 ◆攝影/蘇文星、許安 ◆攝影/金星 ◆音楽/胡偉立、黃英華 ◆歌唱/葉倩文

◆主演/鄭文卓、熊欣欣、陳慧、惠天賜、鍾景文、周潤發

ゴールデンハーベスト作品/フィルム・ワークショップ製作/1995年/香港映画/ヴィスタ・サイズ

◆提供・FCC/MR/K2 ◆配給: K2エンタテインメント <http://www.tujcreative.com/BLD.html>

1996年ベルリン国際映画祭正式出品作品・東京国際ファンタスティック映画祭'96正式出品作品

1995年度香港映画批評家ベスト10作品

ブレード

ツイ・ハーク監督作品

- 1996年ベルリン国際映画祭正式出品作品
 - 1995年度香港映画批評家選出ベスト10作品
 - 東京国際ファンタスティック映画祭96正式出品作品
 - ゴールデン・ハーベスト作品/K2エンタテインメント配給
- © 1995 Paragon Films Limited.

「私たちの挽歌」や「チャイニーズ・ゴースト・ストーリー」といったヒット作を手掛け、最近では「ダブルチーム」でハリウッド・デビューを飾った”香港のスピルバーグ”ことツイ・ハーク監督。日本でも有名な彼が、またとてつもない凄い映画を作り上げた。「ブレード/刀」は、右腕を失った青年が”宿命の地”と呼ばれる場所で、殺された父の唯一の形見である折れた刀を武器に、愛しき女や仲間たち、そして復讐のために全身刺青の男と対決するハードなドラマである。この作品には黒澤明監督の「七人の侍」「用心棒」のようなダイナミズムなアクションが随所にみられ、ツイ・ハーク監督がこれまで見せたことのないリアリズムを狙ったドキュメンタリー・タッチの映像を駆使している。現在彼は、ジャン・クロード・ヴァンダム主演のハリウッド初監督作品「ダブルチーム」(ソニーピクチャーズ配給)に続く第二弾「KNOCK OFF」を撮り終え、香港・アメリカ両方で多忙な身を送っている。主演は、「青蛇転生」「金玉満堂〜決戦炎の料理人」と最近のツイ・ハーク作品には欠かせないウィン・ツァオ、若手男優の注目株「世界の涯てに」のチャン・ホー、台湾のアイドル女優ソニー・スー、「ワンス・アポン・ア・タイム」シリーズのシャン・シンシン、そして「恋する惑星」のヴァレリー・チョウが熱演している。



宿命の地で、男は復讐に燃え、女は運命を信じた。 香港のスピルバーグ、ツイ・ハークが放つ渾身の傑作!!

暴力と殺戮が吹き荒れるある時代、刀鍛冶場で働くテンゴン(ウィン・ツァオ)は、僧侶が獵師に惨殺される事件をきっかけに運命が変わってしまう。ライバルであるチュタオと仲間が刀匠の戒めを無視して獵師たちに闘いを挑みに行こうとしている場所で、刀匠の娘リンが罠にかかってしまい、助けようとしたテンゴンは戦っている最中に右腕を失い、自らも谷底へ転落してしまう。だが、九死に一生を得たテンゴンは、父の仇である全身刺青の男を見つけたことと野盗たちに襲われたことで戦う決意をし、片腕だけの激しい訓練が始める。そして父の形見の刀で必殺技を身に付けたテンゴンは、自分の宿命に課せられた敵と真正面から戦いを挑んでいく。

- スタッフ Staff
- 製作・監督・脚本・編集…ツイ・ハーク(徐克)
 - 脚本……………ソー・マンシン(蘇文星)
 - ……………コアン・ホイ(許安)
 - 撮影……………コン・セン(金星)
 - 音楽……………ウィリアム・フー(胡偉立)
 - ……………ウォン・イーワー(黃英華)
 - 主題歌……………サリー・イップ(葉倩文)

- キャスト Cast
- テンゴン……………ウィン・ツァオ(趙文卓)
 - ルン……………シャン・シンシン(熊欣欣)
 - リン……………ソニー・スー(桑妮)
 - チュタオ……………チャン・ホー(陳豪)
 - 刀匠……………ウアイ・ティンチ(惠天賜)
 - チョンチン……………チャン・ピクハ(鍾碧霞)
 - 娼婦……………ヴァレリー・チョウ(周嘉玲)

FILM REVIEW

WEEKLY VARIETY紙 …… 1996年2月17日号より

生々しく尖っているツイ・ハーク監督の「ブレード」は、この種の映画に飽きてしまったファンをも刺激するのに十分なアクションがある。また、映像的にはかなり異なるが、古い形式の焼き直しで、スタイリッシュな約束事に対して観客に相当な知識を要求している点で、ウォン・カーウアイ監督の最近の作品「楽園の瑕」に並ぶ。冒頭から30分後ぐらいからプロットが急展開し、亡き父の形見の折れた刀で修行を積んだ主人公の青年が大活躍する。全体的な構成はこのジャンルの通例にのっとっているものの、映像的な仕上げは斬新で見事としかいいようがない。カメラワークは全編を通じて鋭く、物体を通してアクションを見せるなど、いくつかの場面ではほとんどドキュメンタリーのようなレンズさばきを見せる。この作品は、闘いの場面の血生臭いヒロイズムから、リンが見るおとぎ話のようなエフェクツまで、スタイルが混在する落ち着いたなさをわざと狙っている。

4月11日(土) 待望のレイトショー!

(4/24巻)

連日PM8:55~1回上映(終映PM10:40) 8:50~
前売鑑賞券絶賛発売中! 一般1,400円(当日一般1,700円)
※劇場窓口、チケットぴあ、ローソン、EST-1、心斎橋そごうPGほか、市内主要プレイガイドにてお買い求め下さい。

アメリカ村BigStep 4F 06-282-1460
パラダイスシネマ

